

平成29年 第9回宇都宮市教育委員会会議録

- 1 日時 平成29年7月21日(金) 開始時刻 午後1時30分
- 2 場所 宇都宮市役所13階 教育委員室
- 3 出席者 水越教育長, 大場委員, 伊藤委員, 山田委員, 清島委員
- 4 説明員 水沼教育次長, 小堀学校教育担当次長, 梓澤教育企画課長, 富山総務担当主幹, 猪瀬学校管理課長, 栗原学校教育課長, 荒木学校健康課長, 増渕生涯学習課長, 松本文化課長, 阿部スポーツ振興課長, 田中教育センター所長
- 5 書記 大出課長補佐, 田上総務担当副主幹, 本田係長, 横塚係長, 関総括, 分田主事
- 6 傍聴者 1名
- 7 議題
 - (1) 報告事項
 - 報告第38号 平成29年6月議会一般質問の概要について
 - 報告第39号 教育行政相談の内容と対応について
 - (2) その他
 - ① 南図書館の来館者400万人達成について
 - ② 文化会館自主事業「市民センター出前寄席」について

8 議事の内容

教育長	それでは、ただいまから平成29年第9回宇都宮市教育委員会を開会します。 会議録署名委員の指名 大場委員, 伊藤委員
教育長	第8回教育委員会の会議録についてご意見などありますか。 (特になし, 全員了承)
教育長	それでは, 第8回会議録は大場委員, 清島委員に署名をお願いいたします。 (会議録に署名)
教育長	報告第39号は, 「個人情報が含まれているもの」であるため, 非公開としてよろしいでしょうか。 (全員賛成)
教育長	全員賛成ですので, これらにつきましては非公開といたします。
教育長	それでは, 報告事項に入ります。 報告第38号 平成29年6月議会一般質問の概要について説明願います。
総務担当主幹	【説明要旨】 ○ 平成29年6月議会では, 27件の質問があった。 ○ 全体として, 貧困対策や教職員の負担軽減についての質問が目立っており, 主なものは以下のとおり。 ○ 6月15日 舟本肇議員① ・ 本市では, 小・中学校入学時における就学援助費の増額など様々な取組をしているが, 改めてどのような方策で貧困による教育の格差の解消を図っていこうとしているのか伺う。 ⇒ 就学援助制度において, 中学校入学前の「入学準備金」の支給や新入学に関係する就学援助費の増額を行うとともに, 小学校入学前の「入学準備金」の支給についても検討を進めている。 また, 経済的理由により子どもの家等の利用が困難な児童の保護者に対し, 「子どもの家等保護者負担金助成制度」を今年度から開始するとともに, 貧困などの家庭環境を背景とした児童生徒の問題行動などを解決するため, スクールソーシャルワーカーを配置し, 支援体制の強化を図っており, これらを積極的に展開し, 貧困による教育の格差の解消に努めていく。 ○ 6月15日 舟本肇議員② ・ 文部科学省が平成28年度に実施した調査によると, 教員の労働時間は10年前に比べて30分から40分延びているなど, 多忙な勤務実態が浮き彫りになった。

教員の過重労働を改善し、質の高い教育を行うためには、教員の増員や給与制度も見直す必要があるとの多くの声もある。

教員は、子供たち一人一人に向き合いながら指導にあたるのが本来の姿であり、そのために、本市ではアクションプランを策定し、負担軽減の取組を進めてきたと聞いている。

本市の小中学校における、教員が子供たちと向き合う時間の確保に向けて、アクションプランを推進してきたことによる取組の成果を伺う。

⇒ 本市では、教職員が児童生徒としっかりと向き合い、指導等にあたる時間を確保することを第一に考え、学校図書館司書等の全校配置による人的支援の充実や、成績処理システム等の導入による学校のICT化の推進、部活動における休養日等のルールの設定などにより、教職員の負担軽減を図ってきた。

さらに、業務の効率化等のため、平成26年度にアクションプランを策定し、様々な取組を3か年計画で集中的に展開してきた。

本年2月に行ったアンケート調査によると、児童生徒と向き合う時間を確保できているとの回答は、アクションプラン実施前から約13ポイント増加し、約81%となるとともに、校務の負担が軽減されたとの回答は約83%になるなど、一定の成果があった。

・ 今後、教職員の負担軽減に向けてどのように取り組んでいくのか伺う。

⇒ 今後は、ICT化の更なる推進や部活動指導員の導入の検討などにより、より一層、児童生徒と向き合う時間を確保するとともに、国の動向を見据えながら長時間労働の改善についても検討し、教職員の負担軽減策を着実に推進していく。

教育長

説明が終わりましたが、質疑などありますか。

伊藤委員

(6月16日今井政範議員の質問について) 避難所運営ゲームとはどのようなものなのか。

学校健康課長

避難所運営を学ぶカードゲームである。避難所に外国の方がみえたり物資が届いたりなど様々な場面を想定し、図面上において、どのように避難所を運営していくかを判断していくものである。

伊藤委員

参加者は誰なのか。

学校健康課長

地域の防災活動で取り入れ、そこに参加していた中学生が体験したことはあるようだ。今回の質問を受けて、学校でも体験できるように、避難所運営ゲームの貸出を検討していきたいと考えている。

伊藤委員

研修を実施したとあるが、どの程度の規模で、何回実施したのか。

学校健康課長

本市の地域防災計画において避難所運営を担うこととなっている生活福祉課の職員が、平成26年度と平成27年度の2か年に分けて、県が開催する防災啓発研修に参加し、その後、当該職員が主体となり、職員対象の研修を1回20名程度で、2回実施したものである。

伊藤委員

災害はいつどこで起きるかわからないものであり、ゲームだとしても、避難所運営の概要を知っておくのはとても心強いことである。

山田委員

災害などが起きたときに、中学生や高校生がリーダーとなって動いてもらうた

めに、避難所運営ゲームを子どもが体験することは素晴らしいことだと思う。私も運営ゲームを中学生が体験している様子を見たことがあるが、考えなくてはならないことがたくさんあり、非常に有意義なものであった。地域行事などの活動にできるだけ子どもたちが参加していけるよう、まちづくり分野とも協働した事業になるとよい。

伊藤委員 (6月16日中塚英範議員の質問について) 学校支援教室と、大学生を含む地域住民の協力による支援とは、別のものであるのか。

生涯学習課長 別の取組である。市内3か所の学習支援については、生活保護家庭の子どもを対象に生活福祉課で取り組んでいる。魅力ある学校づくり地域協議会や放課後子ども教室などでの学習支援については、地域の方々に指導者になっていただき、利用者に対しての学習支援を行っている。

伊藤委員 寺子屋も別の取組なのか。

生涯学習課長 寺子屋について、一般質問の事例では、県関係の機関が実施しており、青少年の自立支援機構という財団法人が委託を受け、まちづくりセンター「まちぴあ」などを会場にしている。

伊藤委員 元学校教員や大学生を含む地域住民の協力による支援は、全ての中学校区で実施しているのか。

生涯学習課長 平成28年度の実績では、豊郷中学校区の魅力ある学校づくり地域協議会のみである。今年度は既に、豊郷中学校区に加えて国本中学校区で実施しており、今後さらに、陽西中学校区でも実施予定である。

伊藤委員 支援をしている方は、その学区の住民なのか。

生涯学習課長 豊郷は帝京大学の学生に、国本は地域の元教員にご協力をいただいております。陽西は、宇都宮大学の学生ボランティアを講師として迎える予定である。

伊藤委員 基本的にはボランティアということか。

生涯学習課長 払える報酬に上限はあるが、地域の実情に応じて、魅力ある学校づくり地域協議会の交付金を活用している。国本では、謝金を払おうとしたところ、ボランティアでよいと言っていた。大学生には交通費を支給している。

伊藤委員 支援活動は定期的には実施しているのか。

生涯学習課長 豊郷については、部活が終わった10月11月くらいから2月の間に、毎週1回ほど実施している。国本については月2回ほど、定期的に曜日を決めて実施している。陽西の詳細な予定は把握していない。なお、国本は算数と数学のみの学習支援である。

伊藤委員 疑問に思っていることを教室では質問できないが、このような場だと質問できるという子もいるだろう。取組を広げていこうという傾向は非常によいことだが、人材確保に課題がある。人材をどう確保し、活用していくかについても、一生懸命取り組んでほしい。

大場委員 学習支援教室や寺子屋について、どのように周知されているのか。

生涯学習課長 学習支援教室は生活保護家庭が対象であり、個人情報に直結するものであるため、対象となる家庭に直接周知しており、一般の方々には、どこで学習支援活動が行われているかは一切伏せて内密に実施している。寺子屋については、まちぴあにてチラシを配布したり、ホームページで案内している。魅力ある学校づくり

地域協議会の学習支援は、中学校区の生徒にチラシを配布したり掲示により案内している。

清島委員 (6月20日西房美議員の質問について) 岩曾町の地蔵尊について、「多くの存在を確認しており、その内容から見て指定には該当しない」ということだが、文化財指定の判断について教えてほしい。

文化課長 これまでの文化財指定の考え方の中では、文化財をそのまま保存し続けるため、全国的に見てもそれしかないということや、芸術性が突出しているということなどの希少性が重視されている。質問のあった地蔵尊の指定は、市内だけでも数多く同様のものがあり、これまでの考え方では、希少性の面から難しい。しかし、定例会後の委員 de サロンで説明する(仮称)歴史文化基本構想において、地域から大切にされているものや、生活に深く密接に関わっているものなど、地域内で共通して価値があると考えられているものを、宇都宮市の歴史文化資源として捉えて支援をできないか、検討しているところである。

教育長 このとおり承認してよろしいか。(全員了承)

教育長 それでは、報告第38号を承認いたします。

教育長 その他の案件については、資料提供のみですので、後ほどご覧ください。

【公開できる案件の終了】

教育長 これからの議案については非公開の案件であるため、傍聴者等の退席をお願いいたします。

【傍聴者の退席、非公開審議の開始】

報告第39号 教育行政相談の内容と対応について

⇒ 承認

【非公開審議の終了】

教育長 以上で議事は終了となります。

教育長 本日は、清島委員よりご意見をいただきたいと思います。
それでは清島委員、よろしく願いいたします。

清島委員 昨年度まで、石井小学校水泳部のコーチを引き受けていた。学校のプールでの水泳の飛び込みは禁止されているが、大会では禁止されておらず、飛び込みのできるプールに行き練習する必要がある。市教委としてはどのように考えているのか。また、水泳以外についても、禁止事項の見直しは行われているのか。

教育長 プールの禁止事項と、その他競技等の授業や部活動での禁止事項については、次回説明するように。報告案件として教育委員会に付議するか、委員研修として

教育委員会定例会とは別に報告するかは、今後調整する。

教育長

自由討論につきましては、委員の皆さまのご発言が一巡いたしましたので、次回は議席順に改めて、大場委員を指名させていただきます。

教育長

その他委員の皆さまからご意見などございますか。(特になし)
それでは事務局から連絡事項をお願いいたします。

事務局

連絡事項説明 (教育企画課長補佐)

- 7月教育委員会等の日程について
 - ・ 7月27日(木) 午後2時30分～ 臨時会

- 8月教育委員会等の日程について
 - ・ 8月22日(火) 午前1時30分～ 教職員とのふれあいティータイムトーク
午後3時30分～ 定例会
 - ・ 8月28日(月) 午後3時00分～ 市議会との意見交換会
午後4時15分～ 委員 de サロン

- 委員協議会について
 - ・ この後委員 de サロンと委員協議会を開催する。

教育長

以上をもちまして、本日の委員会を閉会といたします。
終了時刻 午後2時14分

署名委員

署名委員
